

令和4年第1回定例会3月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、会議については、原則マスクを着用し、換気等の措置を実施の上行いますので、ご理解とご協力をお願いします。
風邪症状（熱、咳、くしゃみ、鼻水等）のある方は、傍聴をご遠慮願います。

発 言 順 位

3月2日（水）

- | | | | | | |
|-----|----|-----|----|-------------|--------|
| (1) | 林 | 健太 | 議員 | (自民党 真誠会) | …… P 2 |
| (2) | 梅田 | 宏希 | 〃 | (公明党) | …… P 3 |
| (3) | 竹内 | きよ子 | 〃 | (明石かがやきネット) | …… P 4 |
| (4) | 坂口 | 光男 | 〃 | (自民党 真誠会) | …… P 5 |
| (5) | 松井 | 久美子 | 〃 | (公明党) | …… P 6 |

3月3日（木）

- | | | | | | |
|------|-----|----|----|-------------|---------|
| (6) | 吉田 | 秀夫 | 議員 | (明石かがやきネット) | …… P 8 |
| (7) | 楠本 | 美紀 | 〃 | (日本共産党) | …… P 9 |
| (8) | 森 | 勝子 | 〃 | (維新の会) | …… P 11 |
| (9) | 家根谷 | 敦子 | 〃 | (スマイル会) | …… P 13 |
| (10) | 大西 | 洋紀 | 〃 | (未来明石) | …… P 14 |
| (11) | 丸谷 | 聡子 | 〃 | (かけはしSDGs) | …… P 15 |

3月4日（金）

- | | | | | | |
|------|----|-----|----|-------------|---------|
| (12) | 寺井 | 吉広 | 議員 | (自民党 真誠会) | …… P 18 |
| (13) | 尾倉 | あき子 | 〃 | (公明党) | …… P 19 |
| (14) | 林 | 丸美 | 〃 | (明石かがやきネット) | …… P 20 |
| (15) | 千住 | 啓介 | 〃 | (自民党 真誠会) | …… P 22 |
| (16) | 辻本 | 達也 | 〃 | (日本共産党) | …… P 23 |
| (17) | 北川 | 貴則 | 〃 | (維新の会) | …… P 25 |

※ 順位については予定です。

令和4年第1回定例会3月議会発言通告一覧表

(代表質問)

発言順位	1	議員名	林 健 太 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<p>1 令和4年度当初予算について</p> <p>(1) 過去最大規模の予算編成について</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症等への対応について</p> <p>(3) ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた経済対策について</p> <p>(4) 旧市立図書館跡地の返還について</p> <p>2 市役所組織改正について</p> <p>(1) デジタル推進課設置の意図とその業務について</p> <p>(2) 環境創造課設置とカーボンニュートラルについて</p>		

発言順位	2	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>1 新型コロナウイルス対策について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 新型コロナウイルス感染症第6波への対策について(2) ワクチン3回目接種の体制、進捗状況について(3) 小児のワクチン接種体制について <p>2 令和4年度施政方針について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) ウィズコロナ・ポストコロナ社会への対応について(2) 多様性を認め合えるまちづくりについて(3) 三側面からの統合的な取組によるまちづくりについて(4) パートナシップによる市民主体のまちづくりについて <p>3 市役所新庁舎整備について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 新庁舎整備の進捗について(2) 新庁舎整備と明石港東外港地区の再開発について <p>4 あかし動物センターについて</p> <ul style="list-style-type: none">(1) センター開所から4年目の総括について(2) 動物愛護管理法に定められている関係機関等との連携について(3) (仮称)あかし動物愛護条例の制定について		

(代表質問)

発言順位	3	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 ジェンダー平等の実現に向けて</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 明石市役所男性職員の育児休業取得状況について(2) ジェンダー平等教育の推進計画について(3) 家庭や地域、民間事業者への啓発について(4) クオータ制と選択的夫婦別姓について <p>2 学校現場での子供たちの支援及び環境設備について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 長期化するコロナ禍における子供たちへの支援について(2) 小・中学校の施設整備と長寿命化計画について(3) 特別支援学級の充実及び介助員の増員について		

発言順位	4	議員名	坂口光男(自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 西明石の活性化に向けた取組の進捗及び次の課題への認識について</p> <p>(1) 市とJR西日本との間で締結された「西明石駅及び駅周辺におけるまちづくりの推進に関する協定書」に示された内容の進捗について (要旨) 今後、協定書に示された内容の進展が期待されるが、JR西明石駅南口改札の設置をはじめとする諸施設の整備について、いつ頃、どのような規模、内容で実施されるのかを問う。</p> <p>(2) JR西日本との協定書で示された西明石活性化の内容について (要旨) 協定書で示された内容が、西明石の活性化・まちづくりの全てではなく、第一弾であることの認識と課題について問う。</p>		

発言順位	5	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p>1 コロナ禍で出産を控えた妊婦への10万円の支援について</p> <p>(1) コロナ禍で出産を控えた妊婦への支援について (要旨) 本市では、長期化するコロナ禍で18歳以下(高校3年生まで)1人当たり10万円の子育て世帯への臨時特別給付金支給が実現した。コロナ禍で出産を控えた妊婦の家庭でも、出産や子育てへの不安が大きく、感染予防のための支出もかさんでいるため、出産を控えた妊婦への10万円の支援も必要ではないか。</p> <p>2 新年度の自治体DX(デジタル改革)の推進について</p> <p>(1) 新年度の自治体DX(デジタル改革)の推進と今後の取組について (要旨) 昨年の12月に明石市行政DX推進方針が示され、2025年度の国の標準化に向けてスタートしたが、新年度の自治体DX推進と今後の取組について問う。</p> <p>(2) 令和4年度のマイナンバーカードの普及促進に向けての取組について (要旨) 本市のマイナンバーカード取得率は1月末で約40%となっている。マイナンバーカード交付円滑化計画では、令和4年度中に100%到達を目指しているため、取得促進に向けて高齢者等に寄り添う支援が重要であり、支援体制づくりや人員の増強が必要である。</p> <p>3 ジェンダー平等の実現に向けた取組について</p> <p>(1) 女性と子どもたちの性の尊厳を守り、育てるための認識について (要旨) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)の視点に立って、女性と子どもたちの性の尊厳を守り、育てるための認識について問う。</p> <p>(2) 明石市ジェンダー平等プロジェクトにおける「教育」のテーマで検討している性教育について (要旨) SNSをきっかけに性犯罪に巻き込まれる子どもが増加していることから、被害を食い止めるための対策が急がれる。明石市ジェンダー平等プロジェクトにおける「教育」のテーマで検討されている性教育の認識を問う。</p>		

発言順位	5	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p>4 スマホ、スマートウォッチを活用した健康管理について</p> <p>(1) スマホ、スマートウォッチを活用した健康管理について (要旨) 昨年、本市は、県が行う市町モデル事業として、特定健診の要観察者、特定保健指導対象者にスマホ、スマートウォッチを活用した健康管理支援事業に参加しているが、その内容と成果について問う。</p> <p>(2) 新年度の本格実施に際しての取組とエビデンスに基づく今後の事業展開について (要旨) 新年度は国からの予算措置で本格実施することとなるが、エビデンスに基づく健康データの蓄積は、健康長寿社会の構築につながると考える。市の今後の事業展開を問う。</p>		

発言順位	6	議員名	吉田 秀夫 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 高齢者施策の充実について</p> <p>(1) コロナ禍を踏まえた高齢者に係る新年度の主な取組について (要旨) 高齢者の方は、2年以上続くコロナ禍によって外出等がしづらくなっており、心身の健康維持への支障が危惧される。全ての高齢者が生き生きと元気に暮らしていくための、新年度の取組や支援について聞く。</p> <p>(2) 高齢者ふれあいの里の有効活用について (要旨) 来年度、指定管理者の選定手続きが行われる高齢者ふれあいの里について、介護予防など新たな課題に対応するための、今後の施設運営方法や活用方法等、事業展開の方針について聞く。</p> <p>2 公的部門(保育等)における処遇改善事業の実施について</p> <p>(1) 介護・保育・児童クラブ(学童保育)・看護師の賃金引上げについて (要旨) 政府は介護・保育・児童クラブ(学童保育)などで働く人々の賃金を収入の3%(月額9,000円程度)、コロナ医療に関わる看護師の賃金を収入の1%(月額4,000円程度)引き上げることを決定した。看護・介護は都道府県の所管であるが、市の所管である保育所・児童クラブ・社会的養護施設等における賃金引上げ実施状況について聞く。</p> <p>(2) 処遇改善が労働者に行き渡っているか。 (要旨) 処遇改善が全ての労働者に行き渡っているかの確認をどのように行うのか。</p> <p>(3) 公立の保育士・幼稚園教諭等の処遇改善について (要旨) 国からは公務現場で働く保育士等にも適切な対応が求められているが、本市の考えを聞く。</p> <p>3 明石市の環境行政について</p> <p>(1) 新しく設置される「環境創造課」の役割について (要旨) 「環境創造課」は、環境総務課の地球温暖化対策係、自然環境係が統合される形で新たに設置されるが、具体的にどのような業務を行うのかを問う。</p> <p>(2) 政府が指定する「脱炭素先行地域」への申請について (要旨) 政府は2030年度までの温室効果ガス排出削減目標の達成を目指して、2025年度までに少なくとも全国100か所に「脱炭素先行地域」を選定し、交付金により支援するとしている。本市も「脱炭素先行地域」を目指すべきと考えるが、認識を問う。</p>		

発言順位	7	議員名	楠本 美紀 (日本共産党)
発言事項	<p>1 ひきこもり相談支援体制等の充実について</p> <p>(1) ひきこもり地域支援センターの設置について (要旨) 新年度に整備予定のひきこもり地域支援センターとはどのようなものか。今までの支援体制との違いについてお聞きします。</p> <p>(2) ひきこもり相談支援について (要旨) 「ひきこもり専門相談ダイヤル」「ひきこもり専門ウェブ相談」が行われているが、利用状況についてお聞きします。</p> <p>(3) 居場所づくりについて (要旨) 現在2か所開設されているが、その利用状況、また、今後の増設計画についてお聞きします。</p> <p>(4) 家族支援について (要旨) 現在、家族会として陽だまりの会が家族の方を支える活動を行っている。家族会に参加された方は、学習、交流を通じて一定の成果を得ているように思うが、今後の家族支援についてお聞きします。</p> <p>(5) ひきこもりサポーター養成講座・ピアサポート事業について (要旨) ひきこもり支援にはマンパワーが必要であるため、サポーター養成講座や出前講座の回数を増やすべきだと考える。また、当事者の方や家族の方に、ひきこもりなどの貴重な経験的知識を元にピアサポーターとしての活動を行っていただくことを視野に入れた、ピアサポーター養成講座を開いてはどうか、考えをお聞きします。</p> <p>2 国民健康保険施策について</p> <p>(1) 子どもに係る国民健康保険料の均等割軽減措置について (要旨) 4月から国保加入の未就学児の「均等割」を5割軽減する国の制度が始まる。その内容と本市独自の上乗せ制度の創設はできないか、お聞きします。</p> <p>(2) 生活習慣病対策について (要旨) 国保被保険者の外来の医療費で一番多い病名は糖尿病である。発症すればいち早く受診し、重症化しないようにしっかり治療しなければならないが、糖尿病予防と重症化を防ぐための市の啓発活動、支援等についてお聞きします。</p>		

発言順位	7	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>3 子ども・子育て施策について</p> <p>(1) 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業について (要旨) 保育士・幼稚園教諭・保育教諭等が対象となっているが、公立・私立問わず、常勤・パート全てが対象となるのか。また、それぞれのどれだけの賃金増額が見込まれるのか。令和4年2月から9月までの間となっているが、10月以降も実施されるのか、お聞きします。</p> <p>(2) 放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業について (要旨) 支援員全員が対象となるのか。また、どの程度の賃金増額が見込まれるのか。令和4年2月から9月までの間となっているが、10月以降も実施されるのか、お聞きします。</p> <p>(3) 放課後児童クラブの組織体制強化と指導体制の充実について (要旨) 本市の新年度の主な取組の中で、支援員アドバイザーや常勤支援員の配置等による組織体制の強化とあるが、どのように強化されるのか、お聞きします。</p> <p>(4) 令和4年度の放課後児童クラブ児童数の見通しについて (要旨) 入所希望者全員の受入れは可能なのか。また、今後も児童数の増加が見込まれるが、対応策は考えておられるのか、お聞きします。</p>		

発言順位	8	議員名	森 勝子(維新の会)
発言事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 感染症に見舞われた方々への対応について (要旨) 今回のオミクロン株による第6波は、予想をはるかに超えた多くの方々が感染し、自宅待機を余儀なくされております。市内の感染者、濃厚接触者、その家族、また、後遺症等で悩まれている方々への本市の取組状況について、お聞かせください。</p> <p>(2) ワクチンの接種状況及び5歳から11歳までの子どもたちへの接種について (要旨) 国内で新しい治療薬が承認される動きがあり、収束への道が近いと期待していた中、オミクロン株の派生型も確認され、第7波も懸念されます。本市におけるワクチン接種の現状、及び5歳から11歳までの子どもたちへのワクチン接種に対する本市の見解について、お聞かせください。</p> <p>2 県立明石公園の市立化について</p> <p>(1) 県立明石公園の管理運営について (要旨) 県立図書館の移転や明石公園の樹木伐採など、基礎自治体の本市には何の権限もないため、対処することができません。明石公園は、明石駅の至近に位置しており、市の象徴であり、市民の憩いの場でもあります。公園施設整備には、明石市民の意向が最大限かつ最優先に反映されるべきと考えます。この際、県に対して県立から市立に移管する要望をしてみたいかと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(2) 兵庫県知事との協議について (要旨) その後、齋藤知事との話し合いはどのように進んでいるのでしょうか。</p> <p>3 西明石活性化の取組について</p> <p>(1) 西明石駅を中心としたまちづくりについて (要旨) 地元住民が待ち望んでおりました西明石活性化プロジェクトがようやくスタートしましたが、JR西日本との協議、地域住民との折衝など、その後の取組状況について伺います。</p>		

発言順位	8	議員名	森 勝子(維新の会)
発言事項	<p>4 スポーツ振興による観光の活性化について</p> <p>(1) 「アウトドアスポーツツーリズム」に対する市の見解について</p> <p>(要旨) 長引くコロナ禍で、運動・スポーツの実施頻度が減少傾向であると聞いております。海のまちである本市においては、身近にある豊かな自然を最大限活用し、サイクリングや散歩、ジョギングのコースなどをさらに整備し、併せて、親子や初心者、コミュニティが苦手な人をはじめとする誰でも気軽に足を運べ、自由に活動できるスペースを整備してはどうでしょうか。スポーツ交流人口を拡大し、地域ブランドを確立・発信し、アフターコロナの観光の活性化を図ってはいかかでしょうか。</p>		

発言順位	9	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p>1 豊かな海づくりについて</p> <p>(1) 第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会について (要旨) 第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会開催に向け、準備が進められているが、本年11月の大会開催後も継続して持続可能な海づくりを進め、次世代へ豊かな海を引き継ぐ取組を考える必要がある。今後の取組についてお尋ねしたい。</p> <p>(2) 海の栄養塩増加に関する取組について (要旨) 海の栄養塩の減少は、漁獲量の減少につながり、本市にとっても喫緊の課題である。本市で取り組んでいる内容を市民に正しく知っていただけるように分かりやすい周知方法を工夫する必要があると考える。本市における現状と今後の取組についてお尋ねしたい。</p> <p>2 認知症予防につながる取組について</p> <p>(1) 高齢者に対する補聴器購入費の助成について (要旨) 令和3年7月から開始された高齢者に対する補聴器購入費助成事業は、認知症予防に非常に有効な取組であると考えます。申請件数や取組内容など、現時点の実施状況についてお尋ねしたい。</p> <p>(2) 今後の取組について (要旨) 補聴器の購入費助成事業以外の認知症予防につながる今後の取組についてお尋ねしたい。</p> <p>3 読書バリアフリーについて</p> <p>(1) 市立図書館における啓発について (要旨) 誰一人取り残さないまちの実現には、障害や障害者についての理解促進、市民に対する継続的な啓発が必要と考えます。本年2月に、あかし市民図書館で「聴覚障害・手話」をテーマに啓発展示が行われ、非常に好評であった。西部図書館においても行ってはどうか。また、他の障害についても同様の取組をしてはどうか。今後の予定などをお尋ねしたい。</p>		

発言順位	10	議員名	大西 洋 紀 (未 来 明 石)
発 言 事 項	<p>1 二見人工島内の環境整美について</p> <p>(1) 本市の「市道」は全市的に平等な取扱いをしているか。 (要旨) 二見人工島内の市道について、歩道部分の荒廃が激しい。他の市域と同様に整美されていないのはなぜか。</p> <p>(2) 二見人工島内の「市道」の環境整美費は、令和3年度当初予算に計上されていたのか。 (要旨) 人工島内の企業や二見臨海工業団地企業連絡協議会から再三の整美要望があるにもかかわらず、事業に着手しないのはなぜか。</p>		

発言順位	11	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発 言 事 項	<p>1 持続可能な明石の農業の推進について</p> <p>(1) コロナ禍による米価下落に対する緊急経済対策について (要旨) 加古川市では、2022年度の主食用米の作付面積から10アールを引いた面積を対象に、10アール当たり5千円を助成する予算が提案されているが、本市も同様の支援が必要ではないか。市の認識を問う。</p> <p>(2) 生産緑地制度の導入について (要旨) 2017年の法改正により生産緑地の最低面積が、市の条例により300㎡以上まで引き下げることができるようになった。また、2018年施行の都市農地の貸借の円滑化に関する法律によって、生産緑地の貸付けができるようになった。 農業者の担い手不足という課題解決のためにも、本市も生産緑地制度を早急に導入すべきであると考えているが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 農業被害が心配されるナガエツルノゲイトウの対策について (要旨) 地球上で最悪の侵略的植物と呼ばれている特定外来生物の水草「ナガエツルノゲイトウ」による農業被害や生態系への悪影響が懸念されている。本市も駆除や防除のための独自財源の確保、河川で発見された時の対応、近隣自治体との連携、専門家による指導など、より効果的な取組の推進が必要ではないか。市の見解を問う。</p> <p>(4) 新幹線車両基地として提案のあったエリアの農業振興について (要旨) JR西日本から提案があったエリアは、近郊農業が行われている優良な農業振興地域である。SDGs未来都市あかしとして、新幹線車両基地は必要ないことを表明し、明石の農業は市が守る姿勢を示し、早急に農業用水のパイプライン設置などを行うべきではないか。市の見解を問う。</p> <p>(5) 明石の都市農業のこれからについて (要旨) 来年度の新規事業として、農業経営及び新規就農者への支援を行うとあるが、この程度の予算で課題解決につながるのか。東京都練馬区のような、市民生活と融合した農業政策や有機農業の推進など、農の持つ多面的な恵みに力点を置き、都市の農業を守り育てる先進的な取組が必要ではないか。市の見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発言事項	<p>2 あかしSDGs前期戦略計画の5つの柱の一つである脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生について</p> <p>(1) 令和4年度の組織改正について (要旨) 「環境創造課」が新設されるとのことだが、何をする課なのか。職員体制、専門職やアドバイザーの配置はあるのかなど、市の見解を問う。</p> <p>(2) 脱炭素社会の実現について (要旨) 令和4年度当初予算案で示した取組だけでは、気候非常事態宣言で表明した2050年までに「二酸化炭素の排出実質ゼロ」は実現できないのではないかと。SDGsの考え方の基本であるバックカスティングでどのようなスキームを描いているのか、市の見解を問う。</p> <p>(3) 気候非常事態宣言をした本市の象徴的な取組について (要旨) 気候非常事態宣言をした本市の象徴的な取組として、現在検討中の市役所新庁舎を、自然エネルギーを活用した「日本一発電する庁舎」にしてはどうか、市の見解を問う。</p> <p>(4) 豊かな自然との共生について (要旨) 豊かな自然と共生するために、どのような施策展開をしていくのか。生物多様性戦略に基づく自然環境の保全や再生、自然体験教育の拠点づくり、環境教育のさらなる推進など、具体的な取組が必要と考えるが、市の見解を問う。</p> <p>3 明石市の高齢者学習の在り方について</p> <p>(1) あかねが丘学園の学習形態の変更について (要旨) 令和4年度から変更するのはなぜか。市の見解を問う。</p> <p>(2) 高齢者学習の在り方について (要旨) 高齢者学習の拠点としてのあかねが丘学園は、地域社会活動の指導者養成という目的があったが、今後は、地域活動の指導者的な高齢者が育たないのではないかと懸念の声がある。また、各中学校区コミセンで開設されている高齢者大学の学習形態も変わり、地域内でのつながりが希薄になったとの声もある。今後どのように進めていこうとしているのか、高齢者学習の在り方について市の見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発言事項	<p>4 県立明石公園のかけがえのない自然を未来につないでいくために</p> <p>(1) 県と市の連携について (要旨) 昨年12月議会において、「明石公園の過剰な樹木伐採については、年明けに県知事に協議を申し入れ、連携していきたい」との答弁があったが、現状について市の見解を問う。</p> <p>(2) 今後の取組について (要旨) 市として、今後どのような取組ができるのか。例えば、植物、昆虫、野鳥、環境教育、石垣などの専門家や、行政、市民とともに明石公園の自然を活かした未来を考える協議会を設置してはどうか、見解を問う。</p>		

発言順位	12	議員名	寺井吉広(自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 明石こどもセンターについて</p> <p>(1) 相談事業について (要旨) 子供本人や保護者からの相談の現状について問う。</p> <p>(2) 虐待防止・早期発見、一時保護について (要旨) 児童虐待による痛ましい事件が後を絶たない。本市の虐待防止・早期発見の取組はどうか。また、一時保護の妥当性について審査する第三者委員会が設置されているが、現状について問う。</p> <p>(3) 里親制度について (要旨) 里親委託率をさらに向上させる必要があると考える。市の見解を問う。</p> <p>2 こども食堂について</p> <p>(1) コロナ禍の運営状況について (要旨) こども食堂は、子供たちの新たな交流を生む居場所として地域に根づいていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により運営が厳しくなった団体もあると聞く。現状について問う。</p> <p>(2) 今後の展開について (要旨) それぞれのこども食堂を継続させていくためには、さらなる支援が必要であると考え、市の見解を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発言事項	<p>1 母子に寄り添う産後ドゥーラの養成で産後ケアのさらなる充実を</p> <p>(1) 本市における産後ケアの現状について (要旨) 本市も産後ケア事業を実施しているが、利用状況等の現状について聞く。</p> <p>(2) 産後ドゥーラ養成への支援について (要旨) 家事や育児、相談などを通じて母親を支え寄り添う産後ドゥーラ養成のための支援として、資格取得費用の助成などに取り組まないか。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症による自宅療養者への支援について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症による自宅療養者の現状について (要旨) 現在、オミクロン株の感染が拡大し、自宅療養者も増えているが、本市の現状を聞く。</p> <p>(2) 自宅療養者への支援について (要旨) 新型コロナウイルス感染症による自宅療養で、食料品等の調達が困難な方への支援について聞く。</p>		

発言順位	14	議員名	林 丸 美（明石かがやきネット）
発言事項	<p>1 市民の健康増進と地域交流を促進するための健康ポイント制度の拡充について</p> <p>(1) 本市における健康ポイント制度の現状と課題について (要旨) 市民の健康づくりのための運動や健康診断受診に対してポイントを付与し、インセンティブを提供する「健康ポイント制度」の本市における取組状況と課題について認識を問う。</p> <p>(2) 健康ポイントを付与できる事業の拡充について (要旨) 市民が参加しやすいように、ポイント付与対象の事業を拡充しないか。コロナ禍で改めて地域コミュニティの重要性も認識されており、とりわけ、地域における活動へのポイント付与は、地域活動への参加の動機づけにもつながるのではないか。地域で気軽に参加できる機会が増えれば、介護予防や健康管理への意識もさらに高まると考えるが、見解を問う。</p> <p>2 明石市民ホールの使用中止について</p> <p>(1) 市民ホールの管理体制について (要旨) 昨年12月、本市が5階部分を市民ホールとして区分所有している明石商工会館（らぼすビル）の耐震性能が基準を大きく下回ることがわかり、市民ホールが使用中止となった。このことは、多くの利用者、市民活動に打撃を与えており、急な使用中止に至るまで手立てを講じることはできなかったのかと悔やまれる。建物全体は民間の所有とはいえ、一部を区分所有する本市の管理体制に問題はなかったのか、経緯と今後について問う。</p> <p>(2) 市民ホールに代わる場、活動の支援について (要旨) 市民ホールは駅からのアクセスも良く、幅広いジャンルでの利用が可能であり、使用料も安価であることから、稼働率も高い。低料金で質の高い芸術を市民が楽しめる企画も多く開催されていた。使用中止となった市民ホールの利用者の受け皿となる場所や、活動への支援の必要性を感じているが、市の認識を問う。</p> <p>3 学校教育におけるICT化の推進について</p> <p>(1) 目指す姿について (要旨) 「誰一人取り残すことのない個別最適化された学びを継続的に実現することをめざす」とするが、現状と課題について問う。</p> <p>(2) ICT支援員について (要旨) 専門の知識を持った支援員は必須である。市内の全小中学校を支援するための人員は十分か。</p>		

発言順位	14	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p>(3) コロナ禍における活用について (要旨) コロナ禍も影響し、自宅待機や欠席時においてタブレット端末を活用した教育の推進を望む声が保護者からも多くある。様々な理由で学校に行くことができない場合、希望する生徒に対しタブレット端末を配付し、学習の機会を確保できているか、現状について問う。</p> <p>4 西明石活性化プロジェクトについて</p> <p>(1) 西明石地域の南北一体化について (要旨) 六甲バター工場跡地を中心とした J R 西明石駅南側の再整備計画が進んでいる。J R 西明石駅を中心としたまちづくりを通して南北の一体化を図ることが西明石活性化プロジェクトのテーマでもあるが、駅の北側について、市としては今後どのようにまちづくりを進めるのか、見解を問う。</p>		

発言順位	15	議員名	千住 啓介 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 泉市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 「事実無根」の真相について (要旨) 昨年12月議会の最終日に、議員が個々の表決態度を明らかにする前に、市民への説明責任を果たすべく討論を行っていた最中に市長の『事実ではありません』という叫び声が聞こえた。討論中の妨害ともとれる発言に驚愕した。何が事実ではないのか、真相を問う。</p> <p>2 地方税法第22条について</p> <p>(1) 守秘義務について (要旨) 地方税の賦課・徴収において知り得た情報は、税務事務のためだけに使用しなければならないと認識している。徴税吏員は守秘義務を遵守すべきと考えるが、市の見解は。</p>		

発言順位	16	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>1 兵庫県との諸課題について</p> <p>(1) 明石港東外港地区再開発と市役所新庁舎整備について (要旨) 明石港東外港地区の再開発に係る知事と市長との協議がいまだ実現していないが、市役所新庁舎整備への影響はあるのか。新庁舎の整備予定地を変更する場合の財政的影響はあるのか。</p> <p>(2) 県立特別支援学校の狭隘(きょうあい)化解消策への協力依頼について (要旨) 市教育委員会の認識を問う。</p> <p>(3) 県立明石公園の樹木過剰伐採と同公園を市に移管することについて (要旨) 県は、石垣の保全のためと説明しているが、明らかに石垣とは無関係の樹木の伐採が進められている。市民から「過剰伐採」であるとして中止を求める声が寄せられている。市の今後の対応を問う。また、明石公園を市に移管することについて認識を問う。</p> <p>(4) 医療・教育に係る権限移譲について (要旨) 知事選挙前の公開質問状で齋藤知事は「明石市と協議する」と回答していたが、その後の取組はどうなっているかを問う。</p> <p>(5) 知事と市長との協議について (要旨) いずれの課題についても知事との協議なしには解決しない。今後の対応を問う。</p> <p>2 工場緑地面積率の緩和について</p> <p>(1) 「ネット・ポジティブ・インパクト」に係る議論の到達点について (要旨) 第5回明石市工場緑地のあり方検討会で委員全員の賛同を得たはずだが、傍聴者を含め認識が一致していない。議事録を公開し、事実関係を確認するべきと考える。</p> <p>(2) 認識の不一致点について (要旨) 誤解による不一致点がいくつかある。議案審査に際し、事実関係を明確にしておくべきと考える。</p> <p>(3) 規制に係る法的根拠について (要旨) アドバイザリー会議の設置や地域協定の締結など、工場立地法が求めていることを条例で定め義務化することについて認識を問う。</p> <p>(4) 議員提出議案第4号の取扱いについて (要旨) 今後の対応について問う。</p>		

発言順位	16	議員名	辻本 達也（日本共産党）
発言事項	<p>3 明石商業高校の課題について</p> <p>(1) 国際会計科の検証・評価について (要旨) 市教育委員会の認識を問う。</p> <p>(2) 福祉科設置に係る論点について (要旨) 県内の福祉系学科の志願者数と生徒のニーズについて、市教育委員会の認識を問う。</p> <p>(3) 明石商業高校の将来ビジョンについて (要旨) 市教育委員会は、明石商業高校をどのような学校にしようと考えているのか、認識を問う。</p>		

発言順位	17	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p>1 コロナに負けない生活支援と福祉の充実について</p> <p>(1) 生活困窮者への支援の現状について (要旨) 新型コロナウイルス感染症による感染拡大が経済面での損失を招き続けております。最近は、ガソリン価格の高騰など物価上昇も重なり、生活苦は深刻さを増しております。失業などで収入が減り生活が苦しくなった方への対応は、この間、適切に行われていたのでしょうか。困っている市民の方を取り残さない取組をお聞かせください。</p> <p>(2) 今後の支援策について (要旨) コロナによる生活困窮を理由に命を絶つことがないように、施策のさらなる展開と、セーフティネットとしての福祉の充実を望みます。従来の生活相談・支援業務に加え、サポート利用券事業の再度の実施など、本市独自の支援策の充実と今後の展開をお聞かせください。</p>		
	<p>2 新年度予算での市民重視について</p> <p>(1) 限られた予算での健全財政、持続可能な予算編成について (要旨) 泉市長の市民重視の姿勢は、魅力のあるまちづくりに大いに作用し人口増の好循環が生まれています。しかし、補助金が減らされ、予算にも限界があり、市民重視の新規事業も財源が伴わなければ予算計上できず、苦心惨たんの様子も伺えます。持続可能な施策の展開、予算編成に際しての今後の取組をお聞かせください。</p> <p>(2) 人口増加策と目標値、見込数について (要旨) 健全財政には安定した税収が必須です。特に人口増加策は今後でも重要で、魅力のある施策はもちろん、人口誘導においては、「住むところ」と「働くところ」が必要です。企業誘致や地場産業の育成など雇用確保、所得増のための策なども怠るわけにはいきません。今後の人口増加策と人口増の目標値、見込数をお尋ねします。</p> <p>(3) 行政サービスの向上について (要旨) 市民重視の住みよいまちづくりには、健全財政に基づく安定した行政サービスが求められます。市民の方々からの満足度はいかがでしょうか。民間では、オンライン手続きなどは当たり前で、ニーズにスピーディに答えています。行政においては対応できていない場面も見受けられます。デジタル化の推進で基礎自治体である本市が担うあらゆるサービスの向上を願います。見解をお聞かせください。</p>		

発言順位	17	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p>3 明石のウミガメ保護とSDGsについて</p> <p>(1) 2022年度のウミガメ保護活動について (要旨) かつて、本市海岸でのウミガメの上陸・産卵は明るい話題でありましたが、残念ながら近年は確認されておられません。ウミガメは、きれいな海と美しい砂浜を内外にPRしてくれ、夢も与えてくれる貴重な宝物だと思います。ウミガメが明石の砂浜に産卵に帰って来てくれることを祈りながら新年度の取組にも期待したいところです。新年度予算における取組をお聞かせください。</p> <p>(2) 本年度のウミガメ保護に関する青少年育成への取組について (要旨) 本市の海岸では、これまで、ウミガメの上陸・産卵は、約20回、1,000頭を超える小ガメが大海原に旅立ったとのこと。未来を担う子どもたちにもぜひ、ウミガメと美しい砂浜を受け継いでほしいと思います。本年度のウミガメ保護に関する青少年育成への取組についてお伺いします。</p> <p>(3) SDGsにおける明石のウミガメの位置づけについて (要旨) SDGsの17のゴールの一つに「海の豊かさを守ろう」という目標があります。明石の豊かな海を未来に引き継ぐことは最も重要ですが、絶滅危惧種のアカウミガメを保護する本市の姿勢も理にかなっているのではないのでしょうか。今年は、全国豊かな海づくり大会が本市で開催されます。泉市長が先頭に立ち、全国に海洋国・日本、明石の取組をPRされてはいかがでしょうか。見解をお聞かせください。</p>		